

法人概要



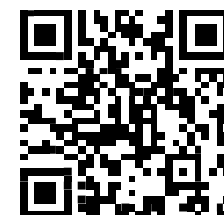
社会福祉法人蒼生会は、1997年11月、神奈川県相模原市南区鵜野森に創立され、現在、高齢者福祉及び児童福祉を二本柱として介護福祉施設、こども園等を運営しています。

蒼生会の運営する施設には、利用者や近隣の皆様に親しみを抱いていただけるよう「モモ」または「ピノ」の名前がつけられています。

「モモ」はできるだけ多くの皆様に利用していただけるよう広域的に事業を展開し、「ピノ」は地域に密着した事業展開を心がけています。

ホームページはこちら →

<https://sosaykai.org/>



モモ と ピノ とは

MOMO

モモは、ミヒャエル・エンデの小説「モモ」から名付けられました。名前のような可愛らしさと人間の哲学的な奥ゆかしさを感じられる施設でありたいという願いが込められています。

PINO

「ピノ」という名前は、ブドウの品種であるピノノアールがその由来で、この種は栽培が非常に難しいのですが、とてもおいしい赤ワインが創られることで知られています。ピノの名前には、じっくり丁寧に人を育み、ケアすることで最上の福祉サービスを地域みなさまにお届けすることを理想とし、そしてそのための努力を怠らないようにとの願いが込められています。



施設紹介（1）



「ゆったりとした」というイメージがピッタリの従来型特別養護老人ホームです。暖かさに包まれる空間を意識して創られた建物の共有部は、壁、床、天井が同系の暖色でペイントされています。

また、館内は廊下が広く、吹き抜けもあり開放的なことからゆったり感に浸ることができます。

従来型の特別養護老人ホームであっても、入居者一人ひとりの要望に応えられるよう、個別介護に努めています。

また、4床部屋でも可能な限りプライバシーが確保できるよう配慮して、常に入居者を尊重したサービスの提供に努めています。

施設紹介（2）



居宅サービスセンターモモは、居宅介護支援事業所としてケアマネジャーが常駐して、さまざまな事業者との在宅サービスの調整や介護保険施設の紹介、要介護認定における訪問調査、居宅サービス計画の作成などを行います。



デイサービスセンターモモは、通所介護サービスをご提供する施設です。
ゆったりとした空間での、趣味をはじめとしたいろいろな活動や、利用者同士の交流を楽しんでいただけます。



ケアハウスモモは、まだまだ元気なので本格的な老人ホームは必要ないが、一人住まいや家族にあまり迷惑をかけたくはないと将来を心配される方にはピッタリの住まいです。

施設紹介（3）



コミュニティホームピノは、相模原市内で初めての地域密着型小規模特別養護老人ホームです。地域密着型サービスは、高齢者が要介護状態になってもできるだけ住み慣れた地域で生活を継続し、日常生活圏域内でサービスの利用及び提供が完結できるように配慮された介護サービスです。定員も特別養護老人ホーム29名（3ユニット）、短期入所生活介護10名（1ユニット）と小規模なので、アットホームな雰囲気の中で生活を楽しむことができます。



2023年4月より、新しい**コミュニティセンターピノ**がスタート致しました。これまでの「認知症特化型デイサービス」から、認知症でない方々でもお楽しみ頂けるデイサービスになります。

安心して働ける職場づくり

- 職員が安心して働ける環境づくりに力を入れています。
- 資格取得時には勤務調整など業務面からも支援。
- さらに、カウンセラーによる相談体制を整え、「なんでも相談部屋」を設置し、仕事や人間関係などを気軽に相談できる環境づくりを進めています。

お気軽にお問合せください！